

室内用ヒューミディスタット

AHS-C1090Q3

AHSは感湿部にナイロンリボンを使用し、相対湿度変化により単極双投（SPDT）の接点を出力します。

加湿器や除湿器と組み合わせて、オンオフ動作の湿度制御を行うことができます。

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、本説明書はいつでも見られる所に必ず保管してください。

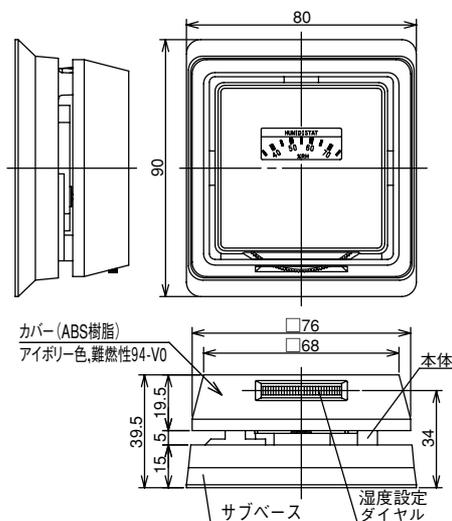
⚠ 注意

- 配線、保守点検の際は、必ず電源を切ってから行ってください。感電の恐れがあります。
- 製品に水をかけないでください。感電の恐れがあります。
- 通電中カバーは絶対に外さないでください。感電の恐れがあります。

製品仕様

形番	接点形式	設定範囲(%RH)		動作すき間(%RH,固定式)	許容周囲温度(°C)	質量(kg)
		最低	最高			
AHS-C1090Q3	SPDT 単極双投	30	90	約5 (設定値の下側)	10~40	0.17

外形寸法図（単位：mm）



電気定格

定格電流(A)	定格電圧(V)	力率 COS φ	DC		
			24 V	125 V	250 V
無誘導負荷電流			1	4.5 A	2 A
誘導負荷電流	常時電流	0.75	0.4 A	3 A	1.5 A
	瞬時電流	0.45	2 A	12 A	6 A

※最小電流定格：50mA

取付および配線上のご注意

⚠ 注意

- 室内の湿度が平均に感知できる床上1.2~1.5 mの壁面に取付けてください。
 - ダイヤル及びダイヤル固定ねじ、端子ねじ、サブベース固定ねじ以外のねじは回さないでください。誤作動の恐れがあります。
 - 本体を外す際はダイヤルを掴んで引っ張らないでください。破損する恐れがあります。
 - サブベースの壁面への取付は、M4ねじをご用意して取り付けてください。
 - 締め付けトルクは、次に示すトルクに従って行い、ねじの締め付け過ぎにご注意ください。
 - ・端子ねじ、(壁面)取付ねじ：78.5 N・cm
 - ・サブベース取付ねじ：39.2 N・cm
 - 次に示す場所への取付はしないでください。誤作動の恐れがあります。
 - ・家具、積み荷等によって、室内の循環空気が妨げられる場所
 - ・窓やドアの近くで、隙間風の影響を受ける場所
 - ・直射日光、または放射熱を直接に受ける場所
 - ・冷暖房装置から直接の温風、冷風を受ける場所
 - ・温水蒸気または冷水ダクトから1m以内の場所
 - ・振動の多い場所、ほごりの多い場所
 - ・オイルミスト等を含む、汚れた風の当たる場所
 - 結線は、1V2mm²以上の電線を使用してください。
 - 結線は、全て電気設備技術基準に従って行ってください。
 - 電気定格を越えた負荷のかかる機器には使用しないでください。接点不良の恐れがあります。
 - ダイヤル設定値と制御湿度には差が生じることがあります。設置後は必ず試運転等で作動湿度を確認してください。誤差があった場合は、誤差を見込んでダイヤル設定を行ってください。または「操作方法」内の「補正方法」に従って補正を行ってください。
 - 例：ご希望の制御点が50%RHに対してダイヤル50%RHにセット、実際の制御点が60%RHだった場合ダイヤル設定50%RH→40%RHにする。
- 精度維持のため、1回以上/年の点検をお奨めします。

取付方法

取付、配線の際は、次の手順で行ってください。(図1参照)

- ・カバーストッパーを図1白抜き矢印方向に押し、カバーを取り外します。
- ・サブベース固定ねじ(M3)を完全に緩めます。
- ・ガイド板を持ち、本体を引き抜きます。
- ・電線を壁面から引き出し、サブベース角穴に挿入してサブベースをM4ねじで壁面に固定します。
(取付ピッチ：66.7mm)
- ・壁面内部から引き出した電線をサブベース上端子ねじに結線します。
- ・本体をサブベースに挿入し、サブベース固定ねじを規程のトルク以内で締め付けてください。
- ・カバーを本体に取り付けます。

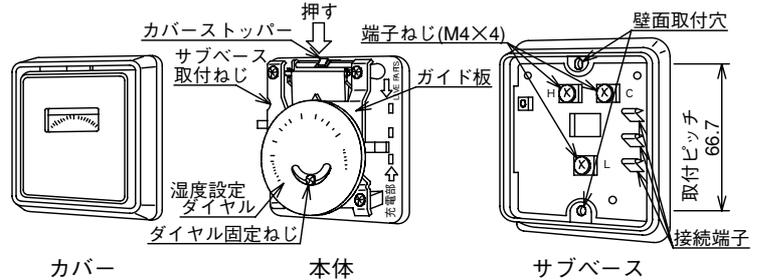


図1 AHS-C1090取付方法

操作方法

- ・本体正面のダイヤルをご希望の湿度に目盛を合わせるにより行います。
- ・作動確認をする場合は、作動値±5%RH以内でダイヤルを回し確認してください。また、周囲湿度が50%RH以上の場合は、ダイヤルを下限(30%RH)まで回すと、一時的に作動なくなる場合があります。
- ・動作すき間は固定式ですので、設定できません。
- ・湿度設定ダイヤルは固定ねじで固定する事が可能です。(図2参照)
- ・補正方法
万一、制御されている室内湿度の平均値が、ダイヤル設定湿度とズれている場合、設定値調整ねじで補正できます。室内湿度にダイヤル設定値を合わせた後、設定値調整ねじにより機器の運転状態を確認しながら補正してください。(図3参照)
設定値調整ねじ防止の為、補正後は必ずボンドロックを行ってください。



図2

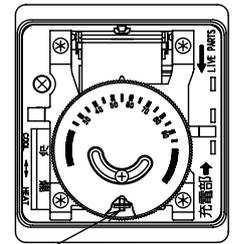
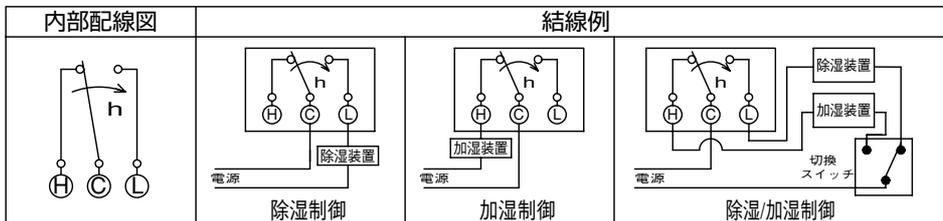


図3

結線



注) 矢印は湿度上昇方向を表す。

作動確認

本製品を正しく取り付け後、必ず試運転を実施し、全システムが完全に機能することを確認してください。

保証範囲

本製品の保証期間は、別途に両社間で定めのない限りは、納入後1年間とさせていただきます。保証期間内に弊社の責による故障が生じた場合には、製品の修理または交換させていただきます。

ただし、次に該当する場合は、この保証範囲外とさせていただきます。

- ① 貴社の不適切な取扱い、または使用による場合。
- ② 弊社以外の改造、または修理による場合。
- ③ 天災、災害、争乱、その他不可抗力による場合。

また、ここでいう保証は本製品単体の保証を意味し、本製品の故障や瑕疵により誘発される損害は除かせていただくものとします。

使用上の制限

本製品は、人命にかかわるような状況下で使用される機器あるいはシステムに用いることを目的として設計・製造されたものではありません。

また、特に高信頼性が要求される用途に使用する際は、あらかじめ弊社へご相談ください。

商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。